

- 議長（河野） 6番、小田郁生君。
- 6番（小田） 議長。6番、小田郁生。
- 議長（河野） 小田君。
- 議長（河野） なお、小田君は一問一答であります。1問目の質問を許します。
- 6番（小田） それでは、通告に従い質問をさせていただきます。

まず、綾川町の農村公園について。本件につきましては、本年3月で質問させていただきました。そして答弁としてですね、地元の施設管理契約の内容について精査、農村公園意見交換会にて各公園の現状を聞き取り、現状に応じた対策を行い、今後の方針を検討してまいりたいと考えておりますと答弁いただきました。現状、意見交換会の結果及び今後の方針について、報告をお願いしたいと思います。

- 議長（河野） 前田町長。
- 町長（前田） はい、議長。
- 議長（河野） 町長。
- 町長（前田） はい、議長。
- 町長（前田） ご質問にお答えをいたします。

農村公園の管理については、公園設置以降、各地区の農村公園運営協議会に委託しております。今年度の代表者との意見交換において、公園内の草刈りや清掃等の維持管理を内容とした管理運営委託契約を締結することで、承諾をいただいているところであります。また、各公園の現状を聞き取りをしておりまして、老朽化した遊具や施設の撤去や改修といった、各公園の現状に応じた対策を検討してまいりたいと考えております。農村公園は、農村総合整備モデル事業などの土地改良事業において、地元からの要望にもとづき整備されたものと認識しておりますので、引き続き、地元の運営協議会で管理されるようお願いしていく考えであります。なお、地元で管理できなくなった場合には、廃止も含めて、今後の方針を、検討してまいりたいとそのように考えております。

以上、答弁といたします。

- 議長（河野） 再質問はございませんか。
- 6番（小田） はい、議長。
- 議長（河野） 小田君。
- 6番（小田） 農村公園の件ですけれども、どこもやっぱり、要は引き受ける人間が、非常に、いなくなって。私も個人的にですけれども、協力して今やっておる状況ではあるんですけれども。私ももう年齢から考えて66ということで、今は若いと言われるけれども、10年経ったらもう76ということですね。10年ももつのかなってこういうふうによく思うんですね。いやいや、もつと思いませんけど。もう今年のようにですね、35度が超える日数が多くてですね、やっぱり、なかなか草刈に出るっていうやっぱり勇気がないというか、どこかでひっくり返ったらえらいことになるんだっていうふうに思ってるんですね。ですからというわけじゃないんですけれども、どこも同じようにですね、なかなかその後継者というのがやっぱり難しくてですね。下手したら、行政のOBの人

にお願いせないかんような状況になるようなこともあるんじゃないかなというふうに、無理やりOBの方に持っていくような気がしてしょうがないんですね。ですから今から5年なり6年なりかけてですね、できたら経済課の方と地元と話し合いをさせていただいて、本当の公園のあり方っていうのをですね、簡素化できるように。

例えば僕のところではやっぱり二反三畝ありますんで。これ半分は遊具置いてあるんですけども、半分はこれもう完全に、だだっ広くて木が植わってるだけで、ここをさくら公園にするとかですね、なんかそういう案をちょっと考えたいなと思うんですけども。なにせ、地元ではやっぱりなかなか意見がまとまらないということがあってですね。やっぱりここは行政の方々をお願いして、これはどうですかっていうふうなちょっと案を出していただきたいなと今後は思ってますんで、その辺どうお考えなのか答弁いただきたいと思います。

○議長（河野） 福家経済課長。

○経済課長（福家） はい。

○議長（河野） 福家君。

○経済課長（福家） はい。

小田議員の再質問でございますけれども、農村公園の管理につきましては現在各地区、農村公園運営協議会でやっていただいております。今後につきましては、今の運営協議会の中でまた十分話し合っていただきまして、後継者なりの協議もしていただきたいと思います。

また、公園の整備につきましては、いろいろ各地区の状況もあると思いますので、協議会の方からのご意見もいただきながら、検討してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

○議長（河野） 再々質問はございませんか。

○6番（小田） はい、ございません。

○議長（河野） はい。

○議長（河野） 小田君の1問目の質問が終わり、2問目の質問を許します。

○6番（小田） はい。

○議長（河野） 小田君。

○6番（小田） それでは2問目ということで、どうしてもこれ私やっていただきたいなという気持ちで、また再度出させていただいたんですけども。これも3月の議会で質問させていただきました。

道の駅滝宮の駐車場施設の拡充ということで。3月の答弁ではですね、本年5月末までに調査を実施し、その結果をもとに検討してまいりたいと考えておりますと、答弁いただきました。ここを、綾バルということで、4年間計画して3回ほど、1度はちょっと頓挫しましたけれども。今年はいつも以上に好評で、出てる屋台といいますか、出てくれた人ほとんどのところが売り切れという形でね、非常によかったなと思ってます。

ただ、言えることはやっぱり駐車場がですね、どうしても台数が少なく、中でやっ

ぱりイベントをするとどうしても、それだけはじき出されると。その分をイオンの方にお願いして、イオンから送り迎えという形にはなろうかと思えます。

今回のイベントもそうなんですけども、毎回、私思うんですけども、集中はするんですね。お客さん来るのは、どうしてもお盆の時期、お彼岸、それから正月っていうことで。これになると、もうまあなかなか行政の方には文句は言わないんですけども、やっぱり、その地区におられる方ってのは、やっぱり車に悩まされるんですね。どうしても駐車場に停められるのが、無理な止め方をするとところがやっぱりございましてですね。前回の答弁いただいたように状況を見てということであるんですけども、やっぱりマックスな状態でどうするのかということなんですけども、ちょっとお考えいただきたいなと思うので、再度今回の調査の結果と、この検討内容を答弁いただきたいなと思います。よろしく願いいたします。

○議長（河野） 前田町長。

○町長（前田） はい、議長。

○議長（河野） 町長。

○町長（前田） はい、議長。

○議長（河野） はい。

○町長（前田） 2点目のご質問にお答えをいたします。

道の駅滝宮であります。令和6年度の利用者、来館でございますが、49万1千人余の来館者があり、前年対比で1万6千人余の増加ということになっております。

ご質問の駐車場施設の利用状況調査であります。4月27日と5月25日と、連休の中ではやっておりませんが。4月27日の日曜日と5月25日と日曜日に第2駐車場の利用状況調査を実施しております。その結果につきましては、4月27日には、開店直後からやや混雑の状況で推移してございましたが、午前10時から11時までの間で、26台、午後1時30分から2時30分までの間で25台の車両が駐車できずに帰ったとの報告を受けております。5月25日には、開店から閉店まで半分程度の駐車状況で推移をしておりまして、満車にはなっておりません。また、指定管理者からの聞き取りでは、3月と同じく、平日においては、余裕はあるという状況であります。

このことから、ただちに駐車場を拡張する段階にはないとは考えておりますが、連休などでは、不足している状況でありますので、引き続き、指定管理者から第2駐車場の利用状況の聞き取りを行い、混雑状況の推移を注視しながら、将来的には、恒常的に拡張するのか、臨時的なものとするのかは、検討してまいりたいと考えております。なお、費用がかかるわけでありまして、指定管理者から町への納付金にも影響してまいりますので、指定管理者の判断も必要であるとそのように考えておりますので、今後色々と調査・検討してまいりたいとそのように思っております。そういうことで答弁とさせていただきます。

○議長（河野） 再質問はございませんか。

○6番（小田） はい。

○議長（河野） 小田君。

○6番（小田） 内容ということで、再質問というのはないんですけども、とにかくですね、お願いをしておきたいと思います。

今おっしゃるように、一時的なものではあるんですけども、やっぱり我々近くに住んでる者としてはですね、危なっかしくて困るんですね。作ってる場所が場所で、車が上がってくると、上がってきてすぐ左右に割れるという、第2駐車場入るところですね。そこへびゅっと飛び出てくるんで、下から勢いよく。おまけにこの間は混んではないんですけども、側溝にどっかのおばさんですけども、側溝にタイヤ落としたりですね。ちょっとやっぱりあそこは窮屈なのかなというふうには思いますんで。できましたら時間は早急にということは無理でしょうから、とにかくお考えいただいて長い時間かけてでもいいんで、できましたらよろしく願いして、私の質問とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（河野） はい。

○議長（河野） 以上で小田君の一般質問を終わります。